

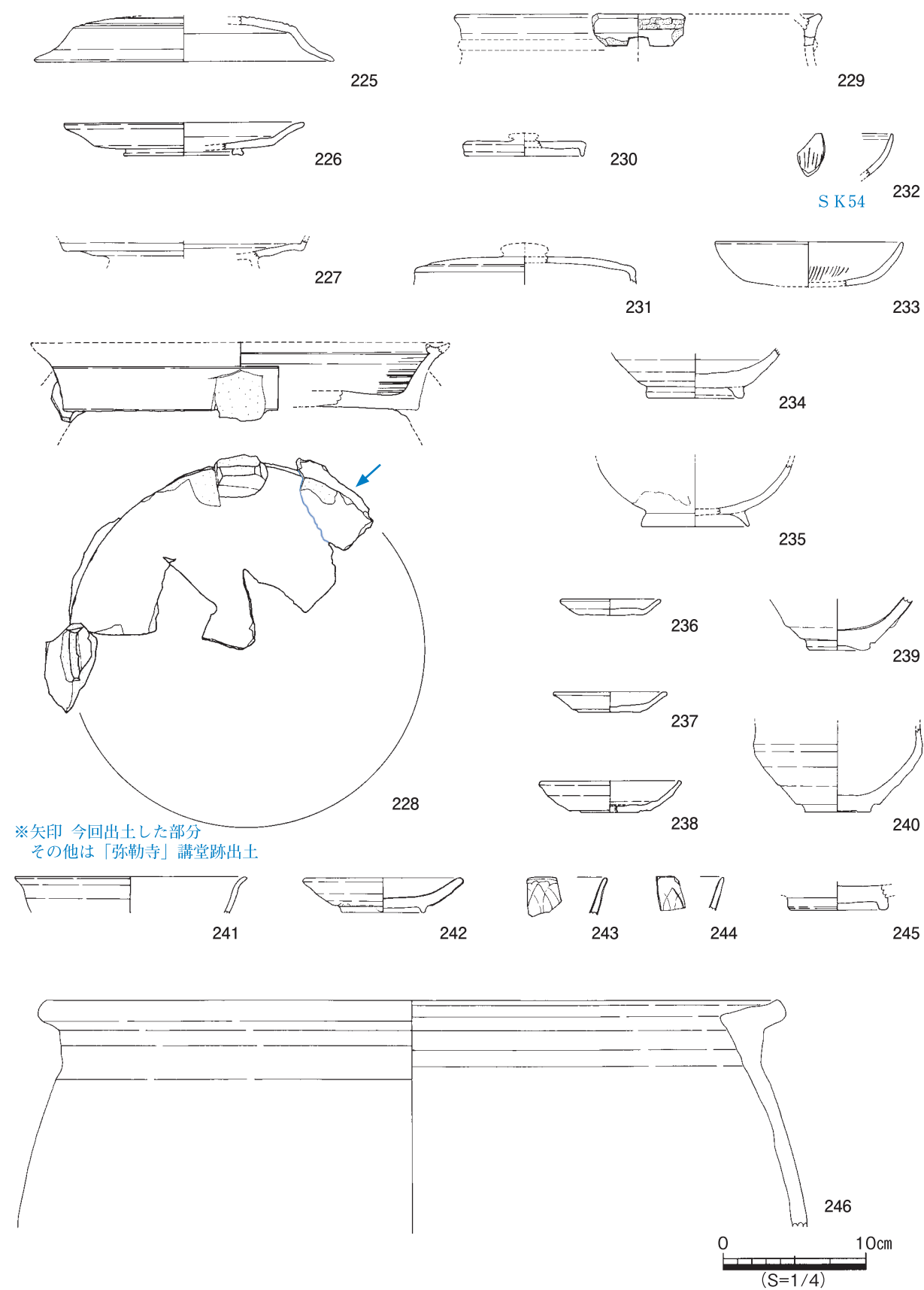


図81 I～Ⅲ



I～Ⅲ

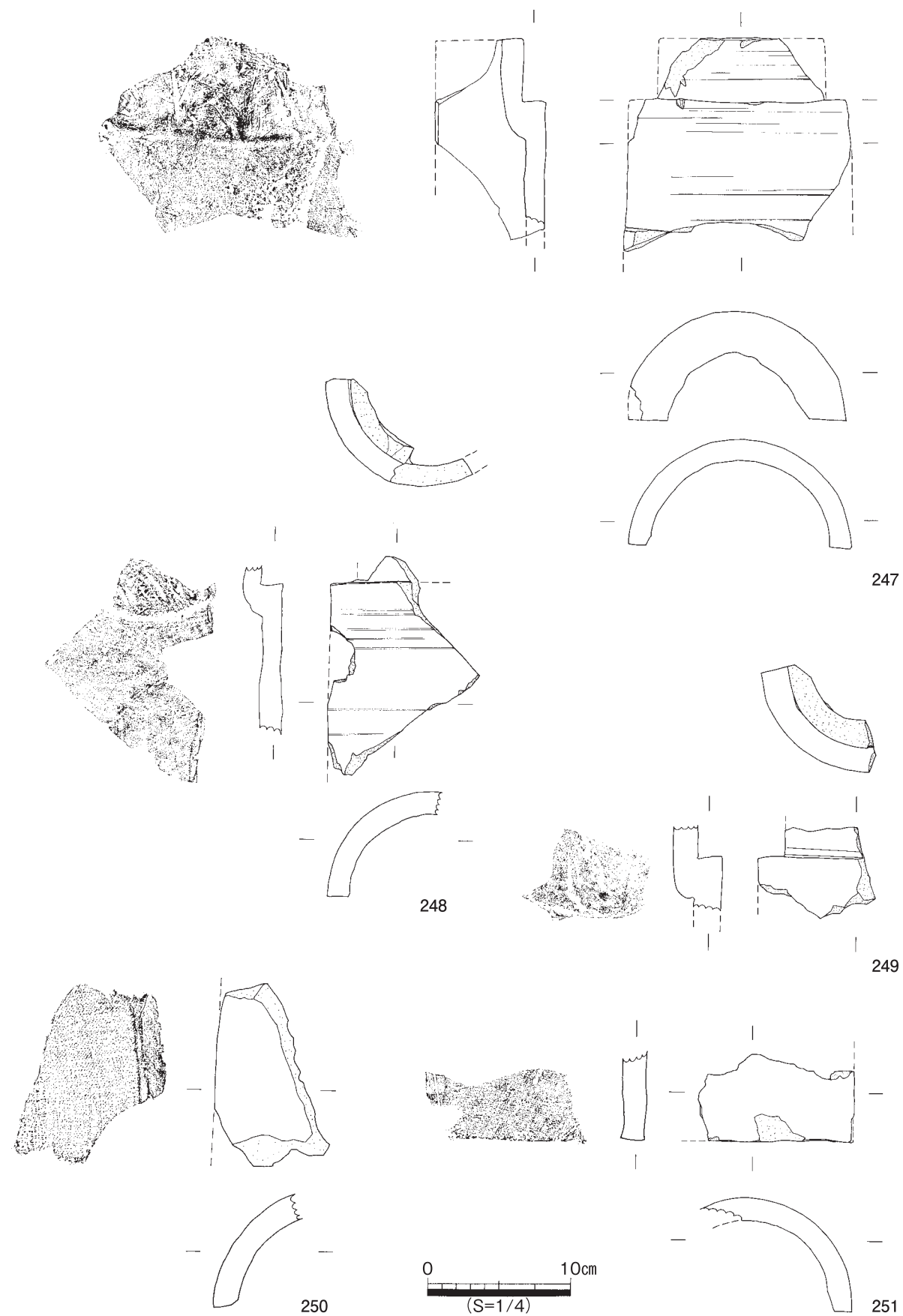
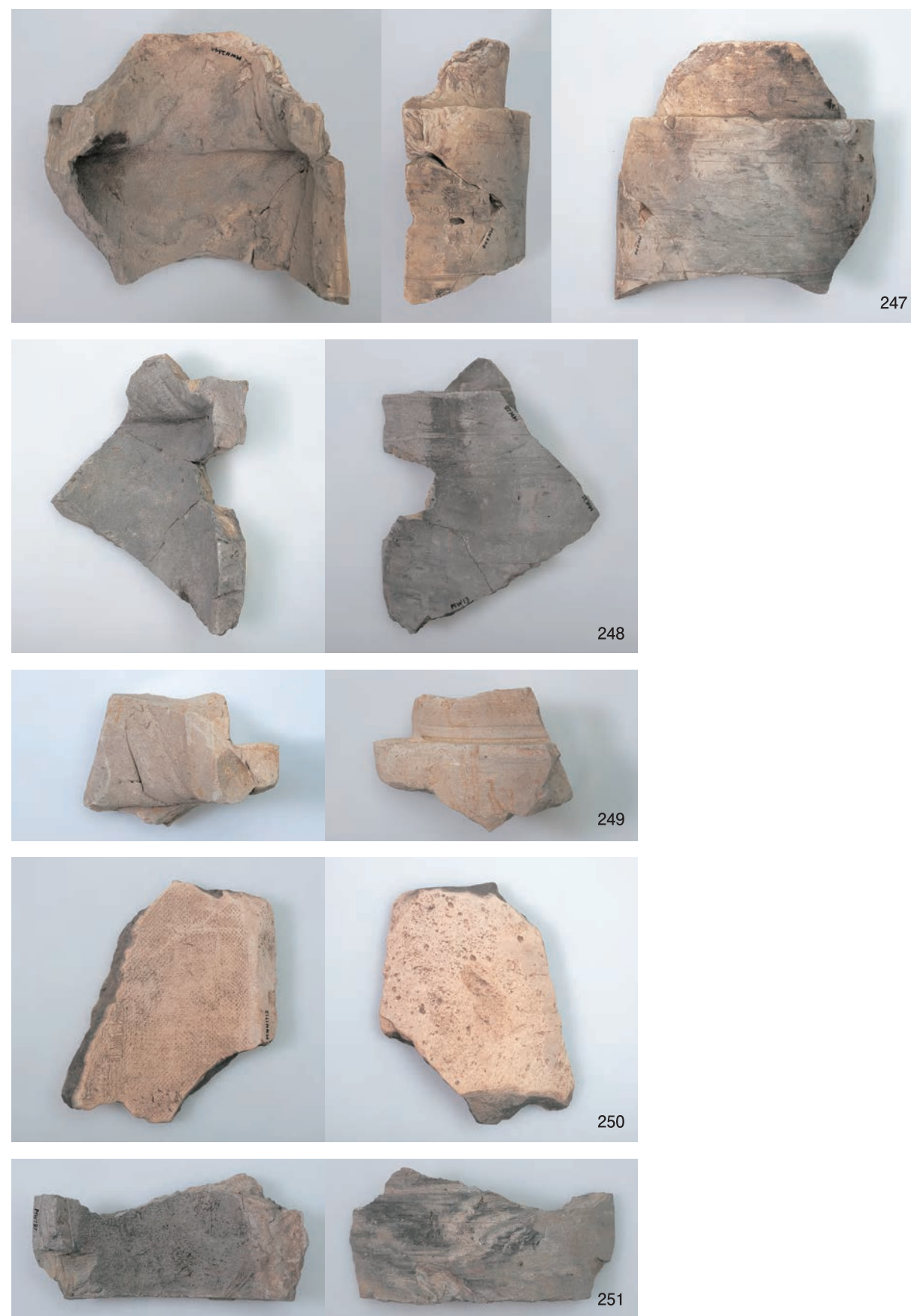


图82 瓦 (1)



瓦 (1)

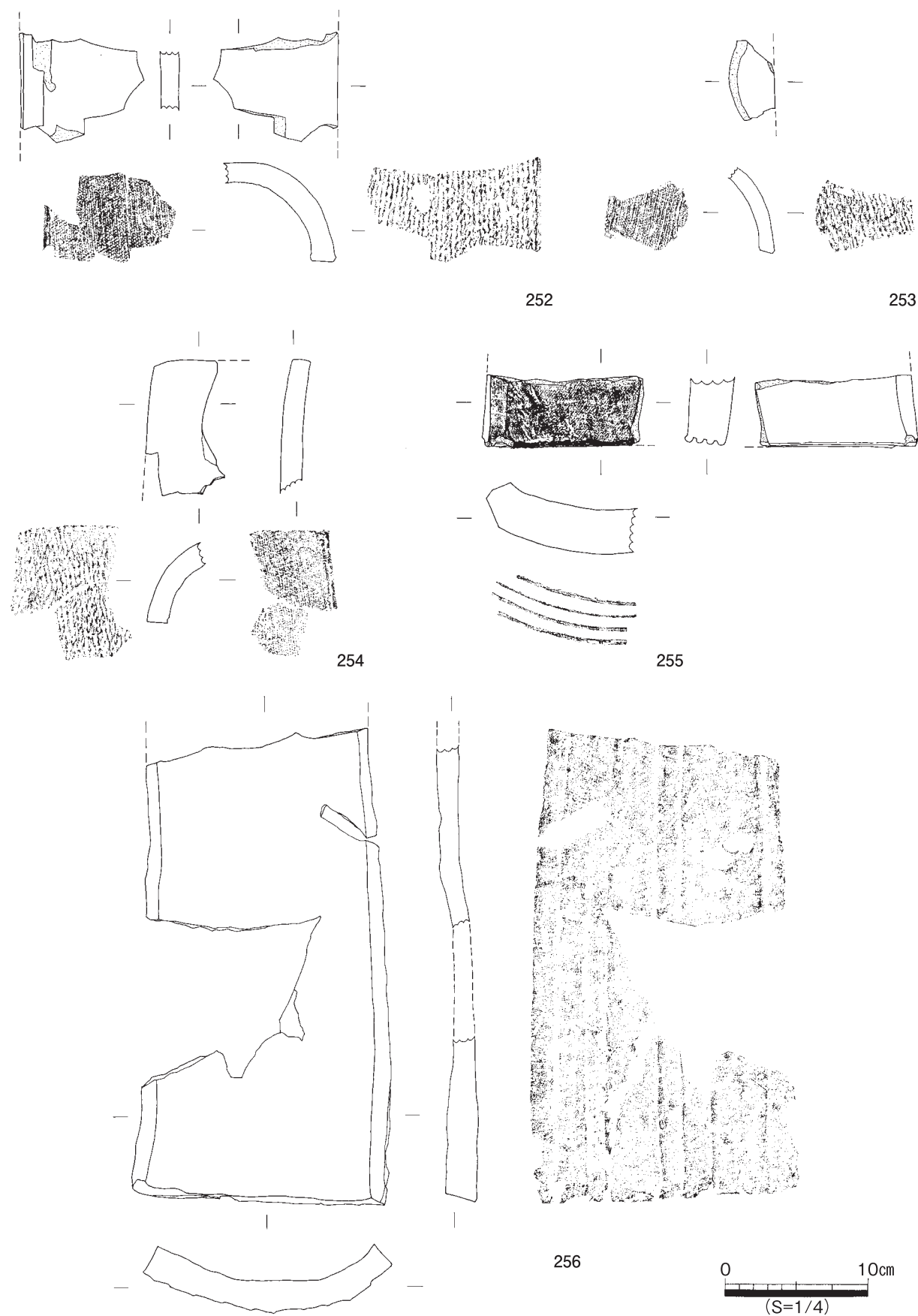


図83 瓦 (2)



瓦 (2)

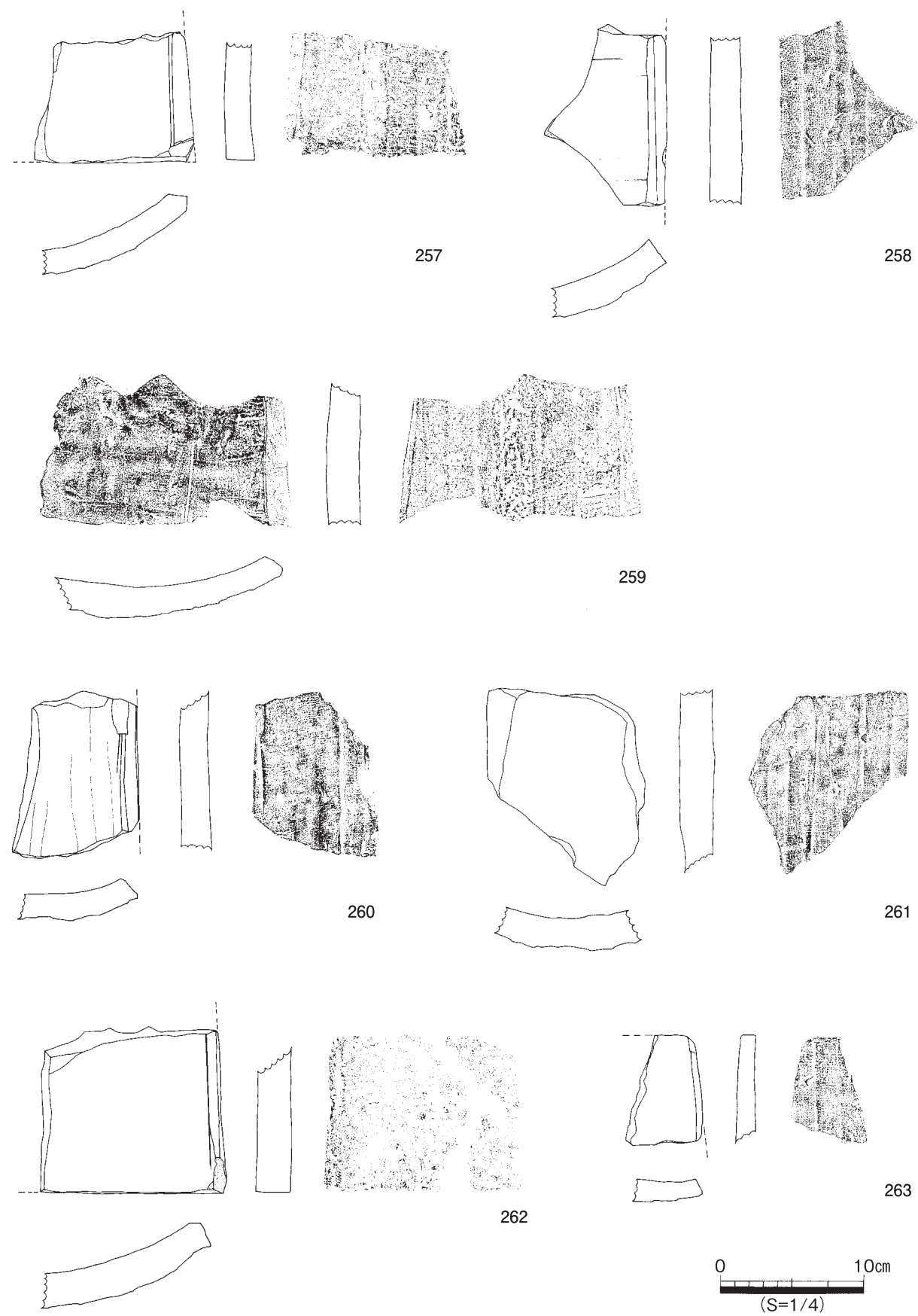


图84 瓦 (3)



瓦 (3)

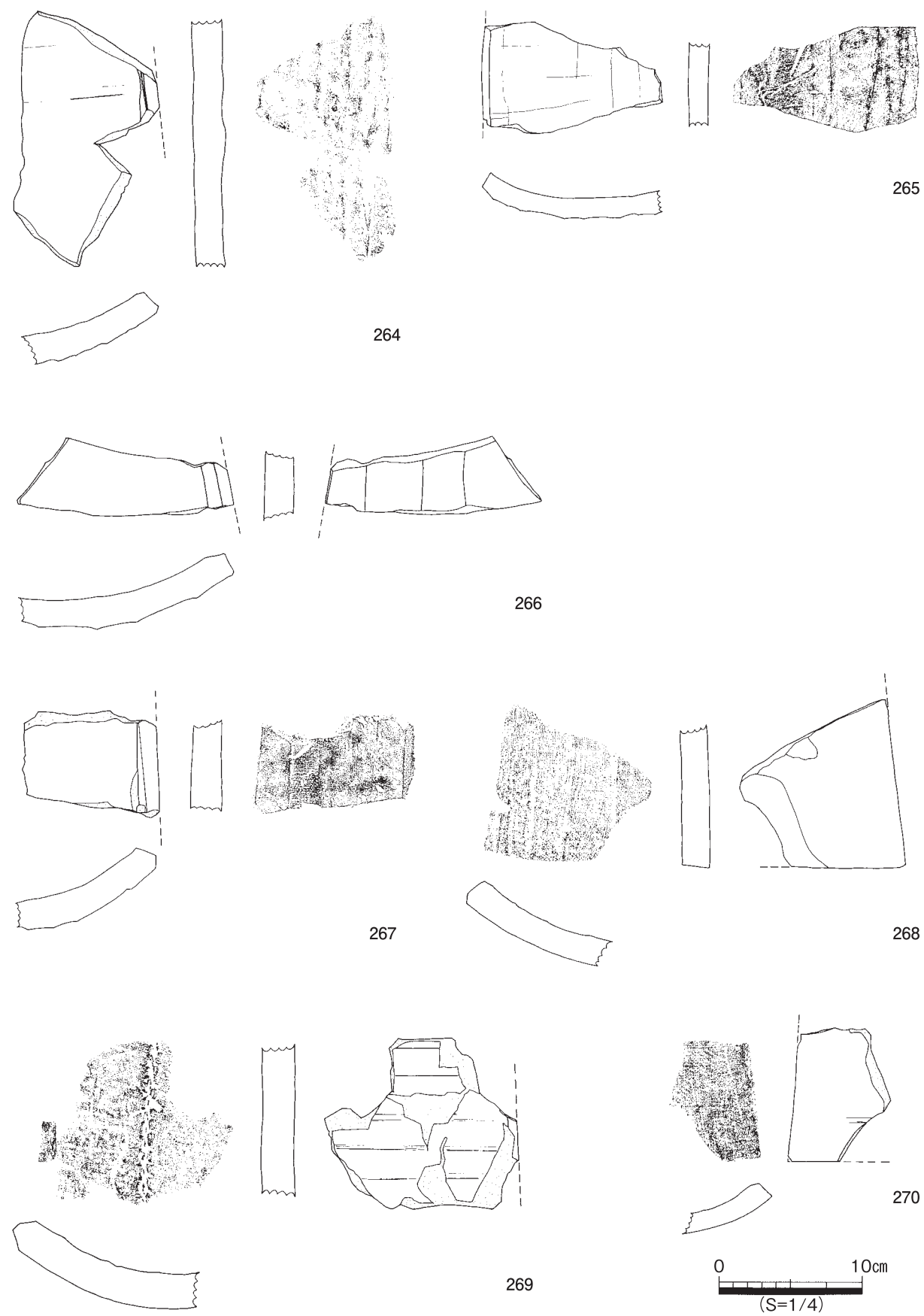


图85 瓦 (4)



瓦 (4)

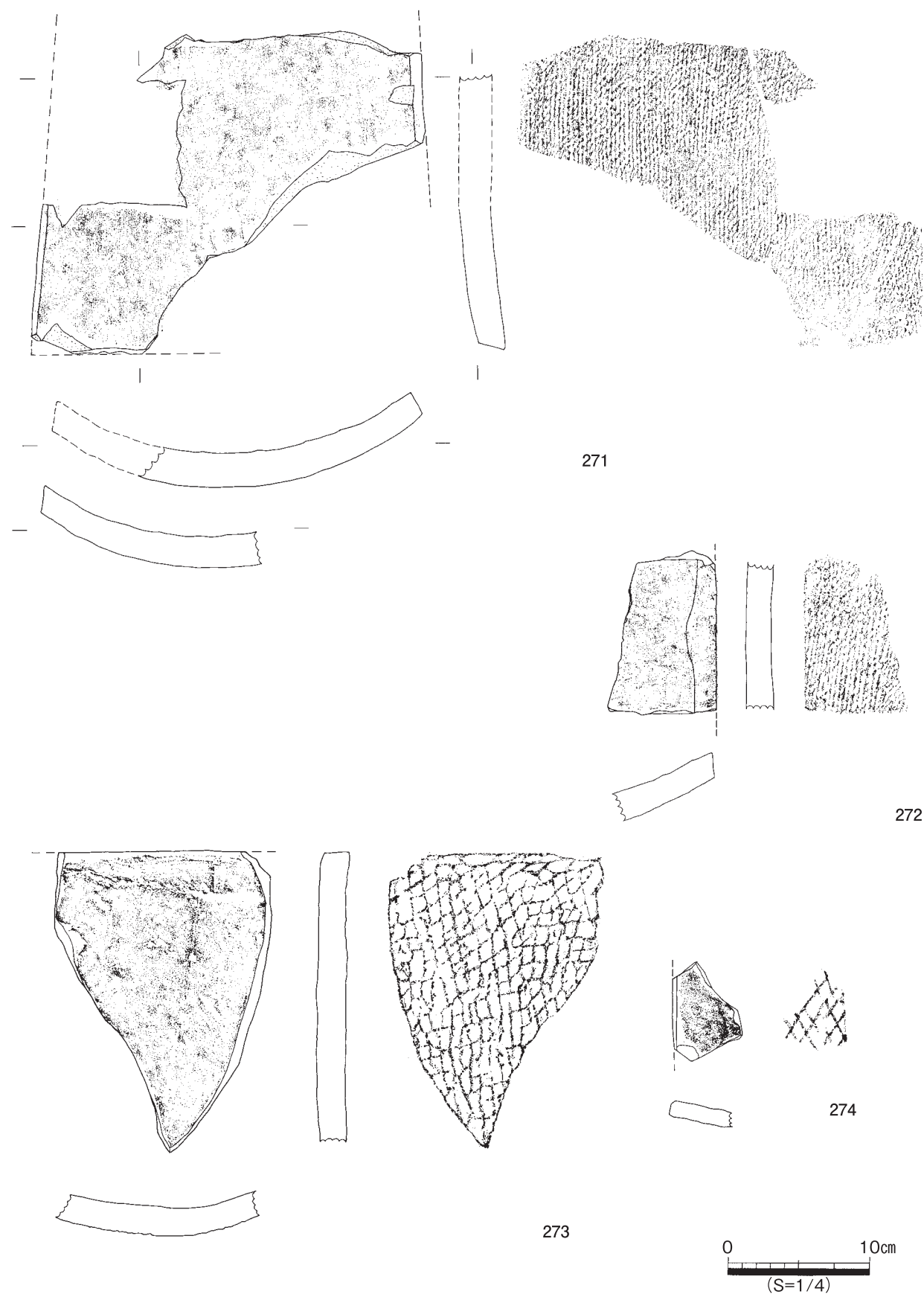


图86 瓦 (5)



瓦 (5)

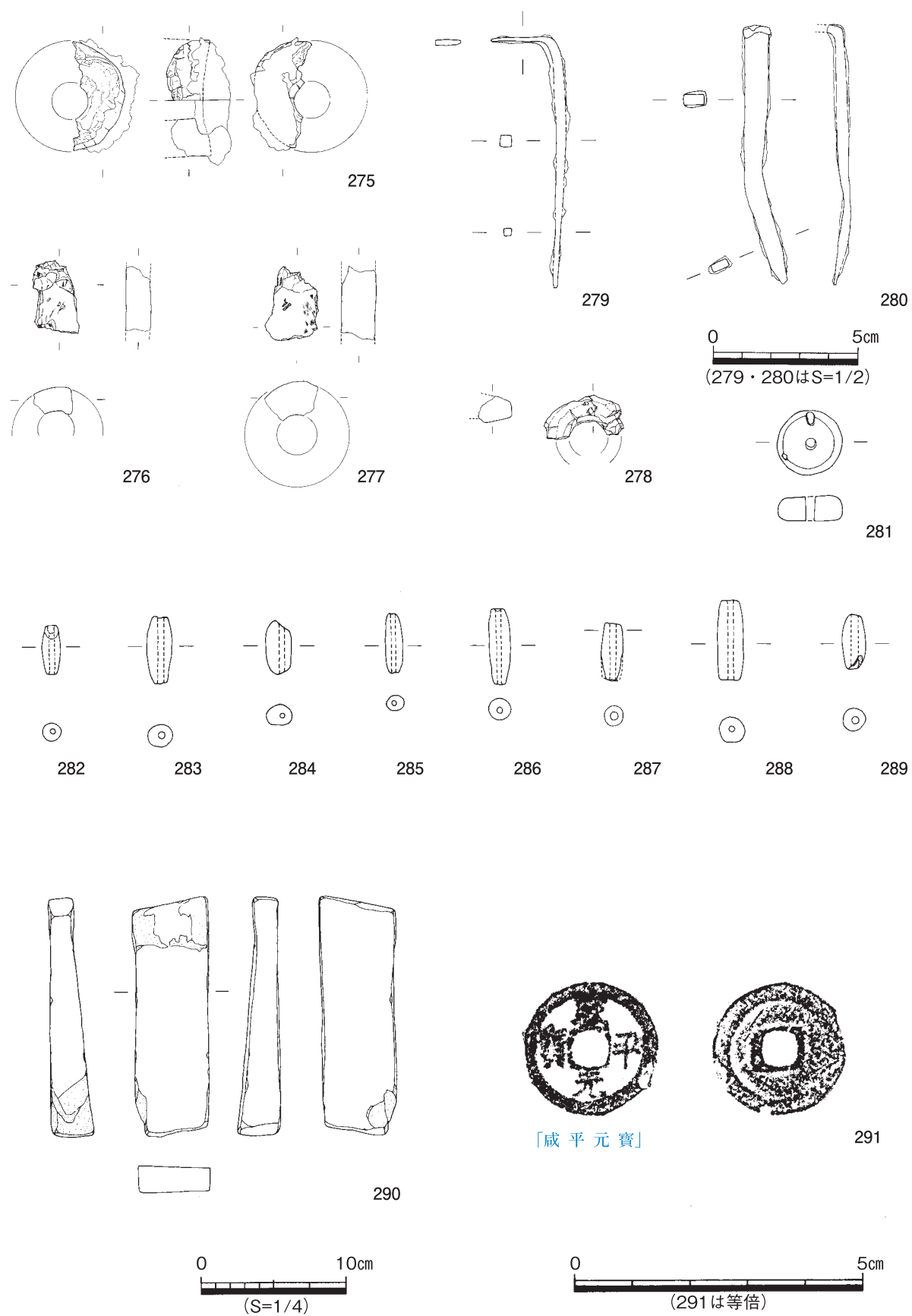


図87 その他 (1)

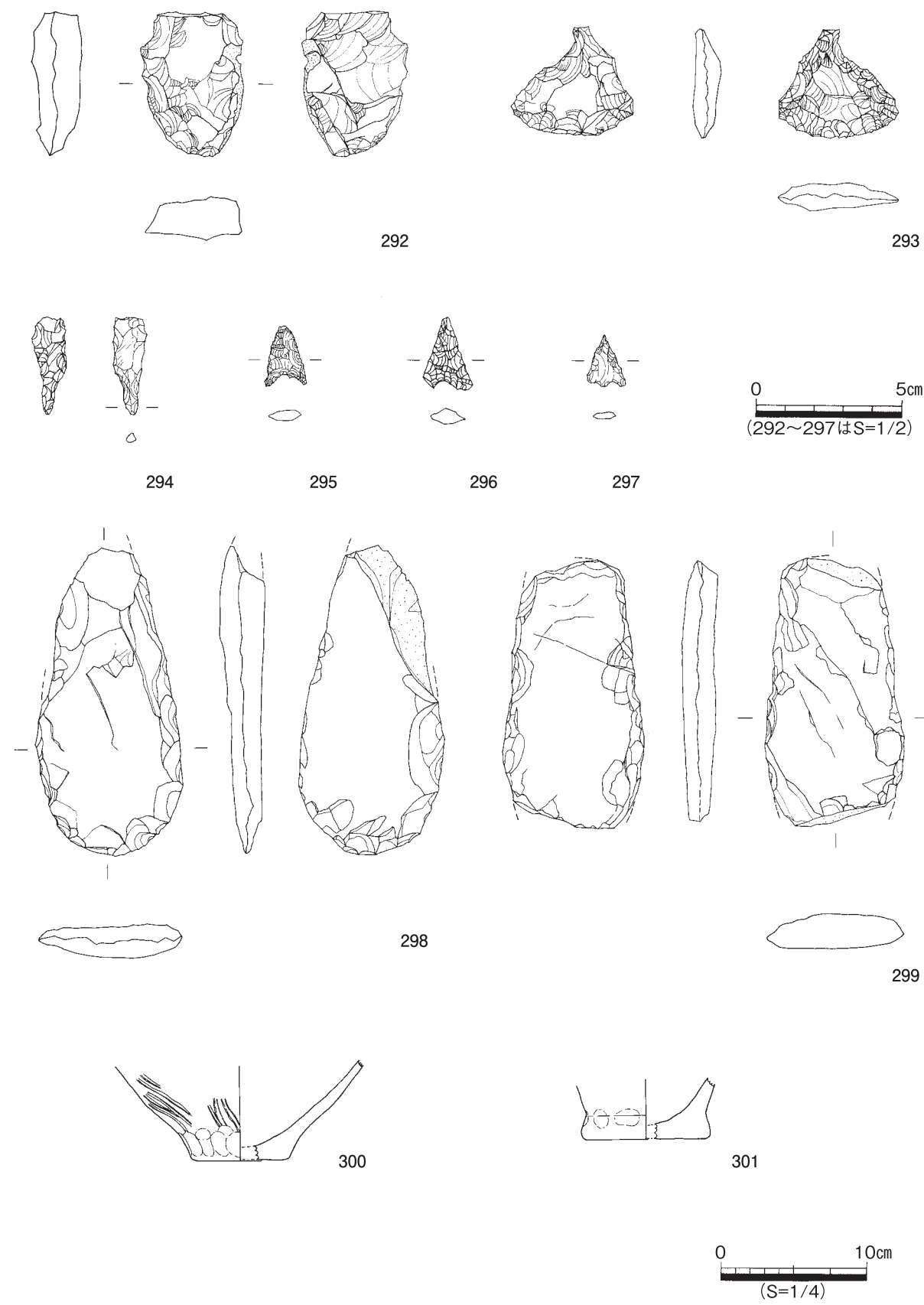


図88 その他 (2)



その他

表9 そのほかの出土遺物(1)

図版・番号		器種 須恵器以外は明記、「坏身」「盤」はすべて高台付き	出土地点・層位	接 合 関 係		残存の程度	用 途 等	備 考	
				取上番号	一括取上番号				
67	1	坏身	東2区	SD1(検出面)	3527		底部のみ残存	転用硯・灯心抑	底部外面（高台内側）と内面に墨及び煤付着。意図的な打ち欠きで、その断面にも油煙が付着。
67	2	蓋（かえり有り）	東区	SD1（　　）		168	口縁部1/6残存		
67	3	蓋	東区	SD1（　　）		170	口縁部1/4残存		口縁部直裁
67	4	盤	東区	SD1（　　）		168	底部3/4・口縁部1/4残存	灯明	口縁部内外面の一致した範囲に（灯心を中心に）油煙が付着。
67	5	無台坏身	東区	SD1（　　）	2258		ほぼ完形		
67	6	灰軸陶器 碗	東区	SD1（　　）	2266		底部・口縁部1/4残存	転用硯	底部外面（高台内側）に墨が付着。
67	7	灰軸陶器 碗	東区	SD1（　　）	2251		口縁部一部欠損		
67	8	坏身（かえり有り）	東2区	SD1-R1(西岸)		151	口縁部1/8残存		
67	9	坏身	東区	SD1-R1		75	底部一部欠損、口縁部1/5残存	転用硯	底部外面（高台内側）の中央部が平滑で墨が付着。
67	10	坏身	東区	SD1-R1	2277		底部一部欠損、口縁部1/5残存		
67	11	無台坏身	東2区	SK39(柱穴), SD1-R1		169, 428	底部1/5・口縁部1/3残存	灯明か	外面全体に煤が付着している。
67	12	蓋（つまみ無し）	東2区	SD1-R1		169	口縁部1/8残存		天井部に丸みがあり、口縁部と天井部の境に沈線。
67	13	蓋	東2区	SD1-R1	3424		口縁部一部欠損	転用硯	天井部から口縁部が直線的で、口縁部は丸くおさめる。内面に墨が付着、つまみの上面が平らで、裏返して置いても安定している。
67	14	鉢	東2区	SD1-R1		147	口縁部一部残存		仏鉢
67	15	長頸瓶	東区	SD1-R1	2288		頸部のみ残存		頸部に2本の沈線と櫛状工具の刺突文
67	16	盤	東2区	SD1-R1(東岸)		158	底部1/4・口縁部1/4残存		外反して立ち上がる口縁部、内わんする高台。
67	17	盤	東2区	SD1-R1		169	底部1/6・口縁部一部残存		〃
67	18	甕	東区	SD1-R1・R2-1		59, 76, 168, 456	口縁部1/5欠損、上半分残存		
67	19	蓋（かえり有り）	東区	SD1-R1 ～ R2		315	口縁部1/8残存		
67	20	無台坏身	東2区	SD1-R2		178	底部3/4・口縁部1/5残存	灯明	口縁部内外面の一致した範囲に油煙が（灯心を中心に弧状に垂れて）付着している。
67	21	坏身	東区	SD1-R1・R2-2		75, 78	口縁一部・底部1/2残存		
67	22	土師器 甕	東2区	SD1-R2		220	口縁部1/2残存		外面縦ハケ、内面口縁部ハケ・胴部ケズリ調整
68	23	坏身	西1区	SD2 (SK36 井泉遺構)	3061		口縁部1/5残存	灯明	口縁部内外面の一致した範囲に油煙が（灯心を中心に弧状に垂れて）付着している。
68	24	坏身	西1区	SD2 (SK36 井泉遺構)		216	底部1/6・口縁部1/8残存	灯明	〃
68	25	坏身	西1区	SD2 (SK36 井泉遺構)	2921		高台1/5・口縁部1/4残存		他の須恵器とは異なり、赤みがかった緻密な胎土を持つ。
68	26	坏身	西1区	SD2 (SK36 井泉遺構)	2920		口縁部1/3欠損	転用硯	底部外面（高台内側）の中央部が平滑で、全体に墨が付着している。
68	27	坏身	西1区	SD2		312	底部1/5・口縁部1/5残存		
68	28	坏身	西1区	SD2-1	2737, 2777, 2934		底部1/4欠損、口縁部1/2残存		
68	29	坏身	西1区	SD2	3363		底部1/4残存		
68	30	坏身	西2区	SD2-3	2809	239	底部1/5残存		
68	31	坏身	西2区	SD2		335	底部1/4残存		
68	32	碗	西2区	SD2-3	2805, 2804		口縁部1/3欠損		高台底部にコモのような圧痕がある。
68	33	無台坏身	西1・2区	SD2	3249, 3356		口縁部一部欠損	灯明	口縁部内外面の一致した範囲に油煙が（灯心を中心に弧状に垂れて）付着している。
68	34	無台坏身	西1区	SD2	3366		口縁部1/5残存	灯明	〃
68	35	無台坏身	西1区	SD2	2924, 2931, 2923		口縁部一部欠損	採煤用か	内外面（全体の2/3）の一致した範囲に油煙が付着している。墨書は留（徳）。
68	36	無台坏身	西2区	SD2	3259		口縁部1/4残存	灯明	口縁部内外面に油煙が付着する。
68	37	無台坏身	西1区	SD2-2	2926, 2929		口縁部1/2残存	灯明	焼成不良で土師質。口縁部内外面の全周に油煙が垂れて付着。灯心の位置を変えながら、使い込まれた灯明。
68	38	無台坏身	西2区	SD2-3	2812		底部1/3・口縁部1/6残存		
68	39	盤	西2区	SD2-3	2806		口縁部1/3欠損	灯明	口縁部内外面の一致した範囲に油煙が（灯心を中心に弧状に垂れて）付着している。
68	40	盤	西1区	SD2	3362		高台1/5残存		
68	41	鉢	西2区	SD2		189, 270	口縁部1/8残存		
68	42	双耳環	西2区	SD2		232	耳の部分のみ残存		
68	43	土師器 坏	西2区	SD2		566	口縁部細片		暗文が施されている。暗灰黄色、胎土やや粗。
68	44	蓋	西1区	SD2		266	口縁部1/8残存	転用硯	内面に墨が付着、口縁部の欠けた所で筆を拭った跡がある。
68	45	蓋	西2区	SD2	3262		1/4残存、つまみ欠損	転用硯	内面が平滑で墨が付着している。
68	46	坏身	西2区	SD2		270	底部1/2残存、口縁部欠損	転用硯	底部外面（高台内側）が平滑で墨が付着している。
68	47	坏身	西1区	SD2		283	底部残存	転用硯	底部外面全体に墨が付着、坏部を高台の外側で丁寧に打ち欠き、机上の据わりを良くしている。
68	48	蓋	西2区	SD2	3258		つまみ残存	転用硯	内面が平滑で墨が付着している。
68	49	蓋	西2区	SD2	2807		1/4残存		
68	50	蓋	西1区	SD2-2	2929		完形		

表9 そのほかの出土遺物(2)

図版・番号		器種	出土地点・層位		接 合 関 係		残存の程度	用 途 等	備 考
					取上番号	一括取上番号			
68	51	蓋	西1区	SD2-2	3067		口縁部1/8残存		
68	52	蓋（かえり有り）	西2区	SD2		270	口縁部細片	転用硯か	内面に墨が付着している。
68	53	蓋（　　）	西2区	SD2		329	口縁部細片		
68	54	蓋（　　）	西2区	SD2-3		327	口縁部細片	転用硯か	内面に墨が付着している。
68	55	蓋（　　）	西2区	SD2		335	口縁部細片		
69	56	坏身	試3区	SX1		207	口縁部一部・底部1/5残存		
69	57	坏身	西区	SX1		87	口縁部一部・底部1/5残存		
69	58	坏身	西1区	SX1	3136		底部1/2残存	転用硯	底部外面（高台内側）の中央部に墨が付着している。
69	59	坏身	西1区	SX1		224	底部細片	転用硯	内面が平滑で擦痕があり、全体に墨が付着している。
69	60	坏身	試3区	SX1		207	口縁部1/4・底部2/3残存		
69	61	坏身	試3区	SX1		207	口縁部1/3・底部1/3残存		
69	62	坏身	西区	SX1		208	口縁部のみ4/5欠損		
69	63	坏身	西区	SX1		208	口縁部1/7・底部1/3残存		
69	64	坏身	試4区	SX1	1047		底部1/8残存	転用硯	内面が全体的に平滑で墨が付着し、筆を整えた跡がある。
69	65	坏身	西1区	SX1	2614		口縁部1/3残存、底部一部欠損		
69	66	坏身	西2区	SX1（張出しの南西部）		218	底部1/4残存		
69	67	無台坏身	西1区	SX1	2448		口縁部1/6・底部1/4残存	灯明	口縁部に灯心をかけるための打欠きが2ヵ所あり、そこを中心に油煙が弧状に付着している。
69	68	無台坏身	試3区	SX1		351	口縁部1/7・底部2/5残存		
69	69	無台坏身	試5区	SX1	1906, 1911		口縁部1/5残存		
69	70	無台坏身	試5区	SX1	1960		口縁部1/4残存		
69	71	無台坏身	西2区	SX1		92	口縁部一部・底部1/4残存		
69	72	双耳坏	西区	SX1		91	口縁部一部・耳部片方残存		
69	73	盤	試3区	SX1		207	1/8残存		
69	74	盤	西1区	SX1		155	口縁部1/3・底部1/2残存	転用硯	内面が平滑で擦痕があり、墨が付着している。
69	75	盤	試3区	SX1	2186		口縁部1/4・底部2/5残存	転用硯	内面が平滑で墨が付着している。
69	76	盤	試3区	SX1		207	口縁部1/8残存	灯明か 転用硯	内外面に墨が付着している。
69	77	盤	試4区	SX1	1221		口縁部一部・高台1/6残存	採煤用	内面には厚く煤が付着しているのに対し、外面には全く付着していない。
69	78	蓋	西1区	SX1	2837		2/3残存、口縁部は1/3残存	転用硯	内面が平滑で全体に墨が付着している。
69	79	蓋	試3区	SX1		48, 146	口縁部1/4残存	転用硯	内面が平滑で擦痕があり、墨の付着と筆を拭った跡がある。
69	80	蓋	西区	SX1		87	つまみ・口縁部1/6残存		
69	81	蓋	試3区	SX1		146	つまみ・口縁部1/3残存		
69	82	蓋	西区	SX1（検出面）		80	つまみ欠損、中心部分のみ残存	転用硯	内面が平滑で擦痕があり、墨が付着している。つまみの欠損部は掘わりを良くするために削っている。
69	83	高坏	西1区	SX1		306, 505	坏・脚部欠損		
69	84	高坏	西区	SX1（検出面）	2242	162	坏底部・1/2脚柱部残存		
69	85	鉢	西区	SX1（検出面）		208	口縁部一部残存		
69	86	土師器 坏	試5区	SX1	1961		口縁部細片		暗文が施されている。
70	87	長頸瓶	西1区	SX1	2820		口縁部欠損		底部外面に四角形のヘラ書きあり。
70	88	鉢	西区	SX1	2243	75	口縁部から底部一部残存、把手欠損		
70	89	甕	西2区	SX1（張出しの南西部）		218, 221, 273	底部3/4残存		
70	90	甕	東区	SX1	2317		口頸部1/3残存		
70	91	甕	試5区	SX1, SD2	1915	14, 207, 209, 261, 312	口頸部1/3残存		
70	92	蓋	試5区	SX1	1744, 1926		口縁部1/4残存		金属器を模した形。
70	93	平瓶	西1・2区	SX1	3034, 3291		口頸部欠損、胴部1/6欠損		
70	94	灰輪陶器 耳皿	西区	SX1（検出面）		209	底部のみ残存		
70	95	灰輪陶器 皿	西区	SX1		205	底部1/2残存		
70	96	中世陶器 碗	西区	SX1		205	底部1/4残存		輪葉が全体にかかる。
70	97	土師器 甕	西区	SX1	2240		口縁部1/3残存		外面縦ハケ、内面横ハケ調整
70	98	土師器 甕	西1・2区	SX1, SX1-R1, SX1-R2-M3		264, 289, 311, 485	底部1/2残存		外面縦ハケ、内面縦ハケとケズリ調整
70	99	甕	西2区	SD2, SK19	2815	461	口縁部一部残存		100と同一個体と思われる。焼成不良で土師質、黄白色。
70	100	甕	試3区	SX1		477	底部1/2残存		99と同一個体と思われる。
71	101	坏身	西1区	SX1-R1	2381		口縁部1/5・底部2/5残存	転用硯	底部外面（高台内側）の全体に墨が付着している。

表9 そのほかの出土遺物(3)

図版・番号		器種	出土地点・層位		接 合 関 係		残存の程度	用 途 等	備 考
					取上番号	一括取上番号			
		須恵器以外は明記、「坏身」「甗」はすべて高台付き							
71	102	坏身	西2区	SX1-R1	2311		底部2/5残存	転用硯	底部外面（高台内側）が平滑で墨が付着している。
71	103	坏身	試3区	SX1-R1		202	底部1/4残存		
71	104	坏身	西2区	SX1-R1		214	底部2/5残存	転用硯	底部外面（高台内側）が平滑で墨が付着している。 内面にも一部平滑な部分と墨痕がある。
71	105	坏身	西1区	SX1-R1	2205	95	底部一部欠損	転用硯か	内外面とも平滑。
71	106	坏身	西1区	SX1-R1	2586		口縁部2/5・底部2/5残存		
71	107	坏身	西1区	SX1-R1	2329		口縁部一部・底部1/3残存	採煤用	内面全体に厚く煤が付着している。
71	108	双耳坏	西1区	SX1-R1		212	口縁部1/4・耳部片方残存		
71	109	無台坏身	西2区	SX1-R1	2666		口縁部一部欠損	採煤用	内面に半円形に煤が付着しており、炎が器面に当たっていた痕跡が明瞭にわかる。
71	110	無台坏身	試5区	SX1-R1	1513, 1954	14	口縁部2/3残存、底部一部欠損		
71	111	無台坏身	西1区	SX1-R1		271	口縁部一部・底部1/4残存	灯明	内外面の一致した範囲に、半円形に煤が付着している。
71	112	甗	西2区	SX1-R1-M2		231	口縁部一部・底部1/8残存		
71	113	甗	西区	SX1-R1	2235		口縁部1/6・底部一部残存	転用硯	内面が平滑で墨が付着している。
71	114	甗	試3区	SX1-R1		202	口縁部1/8・底部1/4残存		
71	115	甗	西1・2区	SX1-R1・R2	2294, 2295, 2306	269	口縁部1/2残存、底部一部欠損	転用硯・灯明	内面が平滑で擦痕があり、墨が付着している。また、口縁部内外面の一致した範囲に煤が付着している。後に転用した後、灯明としても使用。
71	116	甗	西1区	SX1-R1		228	高台2/5残存	灯明か	底部から高台にかけて部分的に煤が付着している。高台に丸穴の透かしがある。
71	117	甗	試3区	SX1-R1		203	口縁部1/8・底部1/8残存	転用硯	内面が平滑で墨が付着している。高台に四角い透かしがある。
71	118	甗	西1区	SX1-R1	2570		口縁部2/3欠損		焼成不良で灰白色を呈する。
71	119	甗	西2区	SX1-R1	2580		底部2/5残存	灯明	内外面全体に煤が付着している。
71	120	甗	試3区	SX1-R1	2181		底部のみ残存	転用硯	内面が平滑。
71	121	皿	西2区	SX1-R1		214	口縁部1/6残存		
71	122	蓋	西1区	SX1-R1		317	口縁部一部・つまみ残存	転用硯	内面が非常に平滑で磨耗が著しい。
71	123	蓋	西1・3区	SX1-R1・R2		94, 328	口縁部1/5残存	転用硯	内面が全体的に非常に平滑だが、墨の付着は部分的。
71	124	蓋	西1区	SX1-R1	2368		口縁部1/8残存	採煤用	内面全体に、触ると手につくほど、煤が厚く付着している。
71	125	蓋	西1区	SX1-R1		212, 205	口縁部1/3残存	転用硯	内面が平滑で擦痕があり、墨が付着している。
71	126	蓋	西1区	SX1-R1	2639	212	口縁部1/5・つまみ残存		
71	127	蓋	西1区	SX1-R1		94, 160, 285	口縁部1/3・つまみ残存		
71	128	蓋	西2区	SX1-R1	2698		つまみ残存		
71	129	蓋	試3区	SX1-R1		53	つまみ残存	転用硯	内面が平滑で全体に墨が付着している。
71	130	蓋	西2区	SX1-R1		214	つまみ残存	灯心抑か	内面の偏った位置に煤が付着している。
71	131	蓋	試5区	SX1-R1		286	口縁部1/6残存		
71	132	蓋（かえり有り）	西1区	SX1-R1		272	口縁部のみ1/7残存		
71	133	坏身（　　）	西2区	SX1-R1		98	口縁部1/8残存		
71	134	坏身（　　）	西2区	SX1-R1		98	底部2/5残存		
71	135	鉢	試3区	SX1-R1		203	口縁部1/6残存		
71	136	高坏	西1区	SX1-R1		242	坏底部1/2・脚柱部残存		
72	137	捏鉢	西2区	SX1-R1	2321		底部残存		
72	138	長頸瓶	西1区	SX1-R1	3136	95	口頸部欠損		
72	139	短頸壺	西1区	SX1-R1		262	口縁部1/3残存		
72	140	鉢	西1区	SX1-R1, SD2	2498, 2833, 2715, 2628		口縁部一部・底部1/2残存	漆容器	内面全体に漆が付着している。（水中保管）
72	141	甕	西2区	SX1-R1		208, 218, 273, 310	口縁部一部残存		
72	142	甕	西1区	SX1-R1		285	口縁部一部残存		
72	143	甕	西1区	SX1-R1		95, 209	口縁部一部残存		
72	144	土師器 甕	西2区	SX1-R1		309	口縁部1/5残存		外面縦ハケ、内面口縁部ハケ・胴部ケズリ調整
72	145	土師器 甕	西1区	SX1-R1		479	口縁部1/6残存		外面縦ハケ、内面口縁部ハケ調整
72	146	土師器 甕	西1区	SX1-R1	2360		口縁のみ1/3残存		外面縦ハケ、内面に厚く炭化物付着、調整不明。
72	147	小瓶	西1区	SX1-R1		285	口縁部2/5残存		或いは、多壺瓶の子壺か。
73	148	坏身	西1区	SX1-R2		277	1/5残存		
73	149	坏身	西1区	SX1-R2		268	口縁部1/7・底部1/3残存	転用硯	底部外面（高台内側）が平滑で、擦痕があり、墨が付着している。
73	150	坏身	西1区	SX1-R2		277	底部1/6残存	灯明	外側面に黒光りする煤が付着している。
73	151	坏身	西3区	SX1-R2		148	口縁部1/8残存、高台1/4欠損		
73	152	坏身	西1区	SX1-R2	2744		口縁部1/5・底部1/3残存		

表9 そのほかの出土遺物(4)

図版・番号		器種 須恵器以外は明記、「坏身」「甕」はすべて高台付き	出土地点・層位		接 合 関 係		残存の程度	用 途 等	備 考
					取上番号	一括取上番号			
73	153	鉢	西2区	SX1-R2		291	口縁部1/6残存		
73	154	長頸瓶	西1区	SX1-R2		261	底部から胴部1/4残存		
73	155	壺	試3区	SX1-R2・M1		25, 33, 146, 203, 346	底部から胴部残存		
73	156	坏身	試2区	SX1-R2	2159		底部2/5残存	転用硯	底部外面(高台内側)がやや平滑で、墨が付着している。
73	157	坏身	西1区	SX1-R2		280	底部1/4残存	転用硯	底部外面(高台内側)が平滑で擦痕があり、墨が付着している。
73	158	鉢	西1区	SX1-R2		268	底部1/2残存		外側面に黒光りする煤が付着している。火に投入か。
73	159	坏身	西1区	SX1-R2		268	口縁部1/7残存	灯明	口縁部の一点に煤が付着している。
73	160	土師器 坏	西3区	SX1-R2		574	口縁部1/6残存		暗文が施されている。
73	161	蓋	西2区	SX1-R2		269	口縁部1/5・つまみ残存		
73	162	蓋	西1区	SX1-R2		311, 326, 351	口縁部1/8・つまみ残存		
73	163	土師器 甕	西1区	SX1-R2		413	口縁部1/8残存		外面縦ハケ、内面口縁部ハケ・胴部ケズリ調整
73	164	甕	西3区	SX1-R2		154	口縁部1/3残存		
73	165	壺	西1区	SX1-R2		153	口縁部一部欠損		
73	166	甕	西2区	SX1-R2, SD2		211, 214, 218, 239, 275, 346, 386	口縁部一部・胴上半1/6残存		
74	167	坏身	試3区	SX1-R2-M1		197	底部のみ1/2残存	転用硯	底部外面(高台内側)及び高台に墨が付着している。
74	168	坏身	西2区	SX1-R2-M1	3146		底部1/3残存	転用硯	内面が平滑で擦痕があり、墨が付着している。高台の内側に墨書あり(解説不能)。
74	169	無台坏身	試3区	SX1-R2-M1		346	口縁1/2残存		
74	170	碗	西1区	SX1-R2-M1		243	口縁部1/8・高台一部残存		
74	171	坏身(かえり有り)	試3区	SX1-R2-M1		346	口縁部一部残存		
74	172	蓋	試3区	SX1-R2-M1		197	口縁部1/8残存		
74	173	坏身	試3区	SX1-R2-M2	2217		口縁部1/6・底部1/6残存		他の須恵器とは異なり、緻密な胎土を持つ。
74	174	坏身	西区	SX1-R2-M2		235, 388	口縁部一部欠損		
74	175	蓋	試3区	SX1-R2-M2	2218		つまみ残存	灯心抑	内面と欠けた断面に煤が付着している。
74	176	甕	西2区	SX1-R2-M2		234	口縁部から胴部1/5残存		
74	177	蓋(かえり有り)	西2区	SX1-R2-M3 (砂地)		236	口縁部1/6残存		
74	178	坏身(かえり有り)	西1区	SX1-R2-M3 (最下層)		263	口縁部1/4残存		
74	179	碗	西2区	SX1-R2-M3 (砂地)		236	口縁部1/6・底部1/2残存		
74	180	蓋	西1区	SX1-R2-M3 (最下層)		263	口縁部2/5残存		他の須恵器と異なり、胎土が緻密で黒色細粒が混入している。
74	181	蓋	西1区	SX1-R2-M3	2995, 2996		口縁部3/5残存		
74	182	短頸壺	西2区	SX1-R2-M3		209, 236, 238	口縁部一部・胴部1/4残存		
74	183	壺	西1区	SX1-R2-M3		209, 267, 272	底部1/8残存		
75	184	蓋	西1区	SX2	2998		つまみ残存		
75	185	土師器 坏	西1区	SX2	3071		口縁部1/6残存		暗文が施されているが、焼成が不良で、断面が黒色を呈している。
75	186	製塩土器	西1区	SX2	2999		先端部のみ残存	鹹水の煎熬	
75	187	蓋(かえり有り)	西2区	SX2-C		255	口縁部1/4残存	灯明か	内面の口縁部付近に煤が付着している。
75	188	蓋	西1区	SX2-C	3004		つまみ残存	灯心抑か	内面に少し煤が付着している。
75	189	皿	西1区	SX2-C		227	口縁部の細片		焼成がやや不良で、断面が黄灰色を呈している。
75	190	坏身	西1区	SX2-R2-2		325	口縁部一部・高台のみ1/4残存		
75	191	高坏	西1区	SX2-R2-2'		320	口縁部1/4・坏底部1/4残存		
75	192	高坏	西2区	SX2-R2-2		241	坏底部一部・脚部残存		
75	193	鉢	西1区	SX2-C		227	口縁部一部残存		
75	194	長頸瓶	西2区	SX2-R2		265	口縁部一部・頸部のみ残存		
75	195	長頸瓶	西2区	SX2-R2		265	底部のみ残存		
75	196	土師器 坏	西1区	SX2-C		227	口縁部の細片		暗文が施されている。
75	197	無台坏身	西1区	SX2-R2-3		237	底部のみ2/5残存		
75	198	無台坏身	西1区	SX2-R2-3		281	口縁部一部残存		黄灰色を呈している。
75	199	無台坏身	西1区	SX2-R2-3		281	口縁部一部・底部1/8残存		
75	200	甕	西1区	SX2-R2-3		244	口縁部一部残存		淡黄灰色
75	201	蓋	西1区	SX2-R2-3	3386		口縁部2/3欠損		内面と断面の中程まで暗茶褐色を呈し、白色粒が混入している。
75	202	壺	西1区	SX2-R2-3, SX1-2		227, 237, 284	口縁部1/6・底部2/3残存		外面の全体に煤が付着している。
75	203	高坏	西1区	SX2-R2-3		237	坏底部のみ残存		

表9 そのほかの出土遺物(5)

図版・番号	器種	出土地点・層位		接 合 関 係		残存の程度	用 途 等	備 考
				取上番号	一括取上番号			
		須恵器以外は明記、「坏身」「甗」はすべて高台付き						
75	204	土師器 甕	西1区	SX2-R2-3		244	口縁部一部残存	外面縦ハケ、内面口縁部ナデ・胴部ナデ調整
76	205	平瓶	西1・2区	SX1, SX2	2783, 2950, 3335	14, 29, 32, 90, 213	口縁端部・胴部1/2欠損	
76	206	長頸瓶	西2区	SX1-R2-M2, SX2-R2-2		152, 190	胴部2/3・高台1/4残存	
77	207	甕	西1区	SX1-R2, SX2-R2-2		237, 321	口縁部1/3残存	
77	208	甕	西2区	SX1-R1, SD2, SX2-R2-2		229, 282, 320, 327	口縁部1/3残存	
77	209	甕	西1・2区	SX1-R2-M3, SX2-R2-2		241, 263, 482, 487	口縁部一部残存、胴部1/2欠損	焼成不良で淡黄灰色を呈し、非常にろい。
77	210	平瓶	西1・2区	SX1-R2, SX2		224, 234, 238	胴部1/5・底部1/2残存	
77	211	長頸瓶	西2区	SX1-R2-M2, SX2-R2-2		152, 190	口頸部・底部1/4欠損	
77	212	甕	西1・2区	SX1-R2, SX2	191, 265, 268, 413, 498		胴部のみ1/3残存	
77	213	把手付き鉢	西1・2区	SX1-R2, SX2-R2	227, 237, 265, 268, 386		口縁部一部残存、把手欠損	
78	214	甗	試3・東区	SX1, SD1	50, 168		口縁部1/6・底部1/6残存	
78	215	坏身	試3・東区	SX1-R1, SD1-R1	128, 169, 251		底部1/2残存	
78	216	水瓶	東2・西2区	SD1, SX1-R1-M2	3477	279	上半部欠損	胎土が緻密で、成形時のロクロの回転に沿った灰白色の筋が入る。胴部は非常に薄手(厚さ2～3mm)に仕上げられている。
79	217	長頸瓶	西1・東2区	SX1-R1, SD1-R1, SX2	2717	147, 320	胴部1/3残存	
79	218	壺	試3・東・西2区	SX1, SD1, SD2	25, 92, 168, 202, 266, 607		口縁端部一部・底部1/2残存	
79	219	平瓶	西1～3・東区	SX1-R1, SD1-R1, SD2	151, 168, 192, 202, 208, 247, 260, 322, 360		口頸部・把手欠損	
79	220	甕	東・試3区	SD1-R1, SX1	2290	75, 77, 146, 147, 168	口頸部3/4残存	
79	221	甕	西1・2・東2区	SD1, SD2	2780	147, 335	口頸部1/4残存	
80	222	瓶	西・東2区	SX1-R1, II, SD1, SX1-R2-M2-3	3451, 3464	465, 466, 467, 471	口縁部1/2残存、底部1/4・把手片方欠損	
80	223	瓶	東2・西2区	SD1-R1, SX1-R2		158, 183, 269, 464	口縁部一部残存、把手欠損	224と同一個体と思われる。環状の把手が付く。
80	224	瓶	試3・西・西2区	SX1-R1	2233, 2674	91, 146, 309, 316	底部1/4残存	223と同一個体と思われる。焼成がやや不良で黄灰色を呈している。
81	225	蓋	西区	Ⅲ	163		口縁部一部残存	
81	226	甗	西区	Ⅲ	210		口縁部1/6・高台1/3残存	
81	227	甗	西3区	Ⅲ	374		細片	
81	228	緑釉陶器 火舎	試3区	Ⅲ	1570		口縁端部・脚部欠損	「弥勒寺」講堂跡（H9,10年度）出土と接合した。
81	229	円面硯	試1区	Ⅲ	1484		細片	脚部に「十」字透かしがある。
81	230	蓋	試4・5区	Ⅱ・Ⅲ	569		口縁部一部残存	
81	231	蓋	試5区	Ⅱ	230		1/6残存、口縁端部・つまみ欠損	
81	232	土師器 坏	西3区	SK54	572		口縁部細片	暗文が施されている。
81	233	土師器 坏	試3区	Ⅲ	1857		口縁部1/8残存	暗文が施されているが、焼成不良で黄灰色を呈し、もろい。
81	234	灰釉陶器 碗	試3区	Ⅲ	1974		底部1/3残存	
81	235	灰釉陶器 碗	排土	I～Ⅲ	411		底部1/4残存	
81	236	山茶碗 Ⅲ	試4区	Ⅲ	323		口縁部1/4・底部2/5残存	
81	237	山茶碗 Ⅲ	試3区	Ⅲ	1100		口縁部1/5・底部1/5残存	
81	238	山茶碗 Ⅲ	試1区	Ⅲ	1653		口縁部1/8・底部1/5残存	暗灰色を呈している。
81	239	天目茶碗	西区	Ⅲ	548		底部のみ残存	
81	240	天目茶碗	試4区	I～Ⅲ	111, 112		底部1/3残存	
81	241	青磁 碗	東区	Ⅱ	557		口縁部1/7残存	
81	242	近世陶器 Ⅲ	東区	Ⅱ	557		口縁部1/7・底部2/5残存	灰釉が施されている。
81	243	青磁 碗	試3区	Ⅲ	349		口縁部細片	
81	244	青磁 碗	東区	Ⅲ	184		口縁部細片	
81	245	青磁 碗	東区	Ⅱ	557		底部1/6残存	
81	246	近世陶器 甕	東区	Ⅱ	580		口縁部一部残存	
82	247	丸瓦	西1区	SX1-R1	2640	290, 604	玉縁部分残存	青灰色、有段（玉縁）式
82	248	丸瓦	試5区	SX1-R1・R2		13, 28, 32	片側面一部残存	青灰色、有段（玉縁）式
82	249	丸瓦	試5区	Ⅲ	2392		片側面一部残存	灰白色、有段（玉縁）式、凸面ナデ、凹面布目
82	250	丸瓦	試5区	SX1	1912		片側面一部残存、上下端面欠損	焼成不良で灰色、凸面ナデ
82	251	丸瓦	東2区	SD1（橋付近）	183		片端面・片側面の一部残存	凸面ナデ・凹面布目
83	252	丸瓦	西1区	SX1-R2	233, 324, 618		片側面一部残存	青灰色、凸面縄目叩き
83	253	丸瓦	試4区	Ⅲ	114		片側面一部残存	青灰色、凸面縄目叩き

表9 そのほかの出土遺物(6)

図版・番号		器種	出土地点・層位	接 合 関 係		残存の程度	用 途 等	備 考
				取上番号	一括取上番号			
83	254	丸瓦	西1区	SX1-R1,Ⅲ	618,619	片側面・狭端面一部残存		灰白色、無段（行基）式、凸面縄目叩き
83	255	軒平瓦	西区	Ⅲ	604	片側面一部残存		灰白色、四重弧文、凹面布目
83	256	平瓦	西1区	SX1-R1,Ⅱ	233,261,599	両側面・片端面残存		青灰色、凸面布目、戛斗瓦か。
84	257	平瓦	試3区	SX1,Ⅲ	207	片側面・広端面一部残存		青灰色、凸面布目・一部ケズリ調整
84	258	平瓦	西1区	SX1-R1	600	片側面一部残存、上下端面欠損		黄灰色、凸面布目・布留痕が横骨1本毎に縦方向3.8cm間隔で3ヵ所・隅り合う横骨の同じ位置に4ヵ所（横方向2.0～2.4cm間隔）で観察できる。
84	259	平瓦	西1区	SX1-R1	591	片側面一部残存、上下端面欠損		青灰色、凸面布目・布留痕が縦3.7～4.0cm・横1.8～2.0cm間隔で観察できる。凹面に縦方向の沈線（分割割付線）が残る。
84	260	平瓦	東2区	SD1-R1(橋付近)	598	片側面一部残存、上下端面欠損		黄灰色、凸面布目・一部ケズリ調整、凹面端部に縦方向の沈線（分割割付線）が残る。
84	261	平瓦	西2区	SX1-R1	102	両側面・上下端面欠損		黄灰色、凸面布目・一部ケズリ調整・布留痕が縦4.2～4.8cm・横1.5～2.2cm間隔で3段13ヵ所観察できる。
84	262	平瓦	西1区	SX1-R2	277	片側面・広端面一部残存		黄灰色、凸面布目、凹面に分割割付線が残る。
84	263	平瓦	東トナ	SX1-R2	85	狭端面・片側面残存		灰白色、凸面布目・布留痕が横1.6～1.8cm間隔で2段3ヵ所観察できる。戛斗瓦か。
85	264	平瓦	西1区	SX1-R1	591,599	片側面一部残存、上下端面欠損		灰白色、凸面布目・布留痕が横方向に1.6～2cm間隔で3ヵ所観察できる。
85	265	平瓦	西2区	SX1-R1	590	片側面一部残存、上下端面欠損		灰白色、凸面布目・ケズリ調整（布の圧痕が深い部分で布目が観察できる）。
85	266	平瓦	西1区	SX1-R1	96	片側面一部残存、上下端面欠損		黄灰色、凸面布目・ケズリ調整で布目が完全に取られている。
85	267	平瓦	西1区	SD2-2	2927	片側面一部残存、上下端面欠損		灰白色、凸面布目・布留痕が横方向に1.7～1.9cm間隔で3ヵ所観察できる。
85	268	平瓦	排土		595	片側面・広端面一部残存		灰白色、凹面布目、凸面ナデ調整
85	269	平瓦	試3区	SX1	25,207	片側面一部残存		灰白色、凹面布目、凸面ナデ調整
85	270	平瓦	表採		584	片側面・広端面一部残存		灰白色、凹面布目、凸面ナデ調整
86	271	平瓦	西区	SX1-R1	161,552,604	両側面・広端面一部残存		黄灰色、凹面布目、凸面縄目タタキ調整
86	272	平瓦	西2区	SX2-R2	265	片側面一部残存		黄灰色、凹面布目、凸面縄目タタキ調整
86	273	平瓦	東2区	SD1-R1	3466	両側面欠損、片端面一部残存		黄灰色、凹面布目、凸面斜格子タタキ調整
86	274	平瓦	試3・4区	SX1	185	片側面一部残存		灰白色、凹面布目、凸面斜格子タタキ調整
87	275	フィゴの羽口	試5区	SX1	2154-1			表11 フィゴの羽口一覧 参照
87	276	フィゴの羽口	西1区	SX1	2331-1			〃
87	277	フィゴの羽口	西1区	SX1-R2-3	3370			〃
87	278	フィゴの羽口	試5区	SX1	2137			〃
87	279	鉄釘	西区	SX1	2284			先端から頭までの長さ 87mm
87	280	鉄釘	東区	Ⅱ	557			先端から頭までの長さ 90mm
87	281	石製紡錘車	西2区	SX1	2916			径 45mm・厚さ 16.0～17.5mm、孔径 7.0～7.5mm、52.8 g
87	282	土鍾	西1区	SX1	2415			長さ 34.0mm・幅 9.0～13.0mm、孔径 3.0mm
87	283	土鍾	東2区	SD1	3542			長さ 46.5mm・幅 11.0～18.0mm、孔径 4.0～5.0mm
87	284	土鍾	東区	Ⅲ	186			長さ (37) mm・幅 14.0～18.0mm、孔径 3.5mm
87	285	土鍾	東区	Ⅲ	184			長さ 41.5mm・幅 10.5～12.0mm、孔径 3.0～4.0mm
87	286	土鍾	表採		23			長さ 52.5mm・幅 15.0～15.5mm、孔径 3.0～4.0mm
87	287	土鍾	西2区	SK38	522			長さ 40.0mm・幅 12.5～13.5mm、孔径 4.5～5.0mm
87	288	土鍾	試3区	SX1	2198			長さ 55.0mm・幅 17.5～18.5mm、孔径 4.0mm
87	289	土鍾	西2区	SD2	3341			長さ 38.0mm・幅 15.0～16.0mm、孔径 5.0～5.5mm
87	290	砥石	西区	SX1-R1	2227			長さ 16.5cm・幅 5.1～5.3cm・厚さ 1.5～1.9cm
87	291	銭貨	排土					咸平元寶、径24.0mm
88	292	削器	東区	Ⅱ	557			チャート
88	293	石匙	西3区	Ⅲ	330			〃
88	294	石鎌	試5区	SX1-R1	14			〃
88	295	石鎌	試1区	Ⅲ	1788			〃
88	296	石鎌	試1区	Ⅲ	1789			〃
88	297	石鎌	西2区	SX1-R1	217			〃
88	298	打製石斧	試3区	SX1-R2-M3	2270			緑色片岩
88	299	打製石斧	東区	Ⅲ	173			凝灰岩
88	300	縄文土器	試3区	SX1-R2-M3	2269	底部のみ		灰白色、外面の調整 縦位の条線
88	301	縄文土器	試3区	SX1-R2-M3	2268	底部のみ		暗黄色

d. 鉄滓、フィゴの羽口

133点、総重量2,667 g分の鉄滓が出土した。そのうちの26点は、炉の底に溜まる、いわゆる梔形滓である。フィゴの羽口は、40点出土したが(表10, 11)、そのうち、比較的形状をよくとどめ、特に送風管の太さを反映した内面が残る先端か、あるいは先端近くの破片4点(275～278)について図示した(図87)。羽口の推定外径は、太いところで10cm前後のものが多いが、先が細くなる形状のため、これら4点の外径は7 cm前後と小さい。内径は2.5～2.8cmを測り、送風管の規格がわかる。

出土状況を見ると、自然流路内のN 5 W49に集中しており、直ぐ上から滑落したか、廃棄された状態とみられる(図89)。S X 1 と 2 の間に形成された島状の陸地には、この地点から、さほど遠くない位置に、鉄製産に関わる工房があったと思われる。



図89 鉄滓、フィゴの羽口の出土状況



フィゴの羽口



鉄 滓

表10 鉄滓一覧(1)

取上番号	種 別 ゴチックは一括取上	出土地点・層位		法量 (cm)	重さ (g)	備 考
518	鉄滓	試1区	Ⅱ	2.3 1.6 1.9	4.7	黒色の溶解物で、粒状の凸凹に覆われている。
2161	鉄滓	試5区	SX1-R2	4.8 4.3 3.7	38.5	黒緑色ガラス質の溶解物で、灰白色粒を析出。刃床滓と思われる。上面は粒状の凸凹に覆われ、他は破面。破面に木炭痕が見られる。
2164	鉄滓	東区	Ⅱ	2.6 2.0 1.5	7.3	淡赤粘土に黒色の溶解物が付着。羽口の先端部破片か。
2166	鉄滓	東区	Ⅱ	1.8 1.8 1.6	4.6	鉄銹(茶褐)色の塊で、一部黒緑色の溶解物が付着。
2177	鉄滓	試5区	SX1-R2	2.8 2.7 1.2	5.5	大きな気孔のある濃紺色ガラス質の流動滓。灰白色粒が析出。
2203	鉄滓	試3区	SX1-R2-M2	3.6 2.6 1.7	11.2	光沢のある黒色ガラス質の溶解物で、灰白色の礫状粒が析出。
2271	鉄滓	西1区	SX1	2.0 1.8 0.8	3.9	鉄銹(茶褐)色の部分と黒色の溶解物が結合して層をなす。
2303	鉄滓	西2区	SX1-R1	3.3 2.7 2.5	17.8	黒灰色の溶解物で、淡赤色の微細な凹凸を持つ面と鉄銹色の部分がある。黒灰色の部分で絶着。
2334	鉄滓	西1区	SX1-R1	4.1 2.2 2.0	17.8	粒状の凹凸があり、細かな気孔に被われた淡黒色の流動滓。
2362	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 1.6 1.1	5.9	黒色の溶解物で、灰色の礫状粒が析出。
2363-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 2.1 1.5	5.8	小礫に黒緑色ガラス質の溶解物が付着。このほかに細片2 (1.2g)
2365	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.9 1.7 1.4	3.5	灰白色の礫と黒色の溶解物で、灰白色の礫状粒が析出。
2366	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.1 2.1 1.4	8.7	灰白色の礫と黒緑色のガラス質の溶解物で、灰白色の礫状粒が析出。このほかに細片1 (0.8g)
2367-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 1.3 1.1	2.4	スサの混ざる灰色の土塊に鉄銹色の溶解物が付着。
2367-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.5 1.6 0.7	4.4	鉄銹(黄褐)色の部分と黒色ガラス質の溶解物が結合。
2374	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.5 1.0 0.8	1.2	鉄銹(黄褐)色の部分と黒色ガラス質の溶解物が結合。
2377-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.1 2.7 1.1	10.2	茶褐色で気孔の多く木炭を噛んだ鉄銹色の部分と黒・灰白・茶褐色ガラス質の溶解物が層をなす。
2377-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.2 0.7	1.2	〃
2382-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.3 1.3 1.3	2.2	黒褐色と灰色のガラス質の溶解物。
2382-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.3 0.9 0.8	0.6	〃
2382-3	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.7 0.6 0.7	0.7	〃
2384	鉄滓	西1区	SX1-R1	4.2 1.2 1.3	5.8	光沢のある黒色ガラス質の溶解物で、灰白色の礫状粒が析出。
2393-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.7 0.9 0.9	0.9	黒色ガラス質の溶解物で、表面は風化したような灰色を呈する。
2394-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.3 1.1	2.2	鉄銹(茶褐)色の塊。
2394-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 1.5 1.0	3.4	黒灰色のガラス質の溶解物と白色の礫状粒が結合。このほかに細片4 (計1.0g)
2395-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.7 1.1	3.0	細かい気孔のある鉄銹色の塊で、比較的軽い。このほかに同様の塊3 (2.9+2.5+1.0g)
2395-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.6 1.5 1.2	3.3	気孔の多い灰色の溶解物。同様の塊2 (2.4+0.7g)
2396-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.4 1.4 1.0	2.2	鉄銹(茶褐)色の部分と灰色の礫状粒が結合。
2398	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.5 1.8 1.6	5.5	鉄銹(茶褐)色の溶解物で、白色の礫状粒が析出。木炭が混じる。
2399	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.8 3.1 2.1	18.7	白色粒の混じった黒褐色ガラス質の溶解物に礫や黄褐色の土塊が結合。
2401	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.8 1.6 1.1	6.0	鉄銹(黄褐)色の部分と暗灰緑・白色ガラス質の溶解物が結合。
2402-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.0 1.6 1.5	2.4	黒緑色の溶解物で、白色の礫状粒が析出。
2402-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.6 1.4 0.8	2.1	気孔の目立つ鉄銹色の部分と白色粒混じりの黒褐色の溶解物が結合。
2403	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.5 2.0 2.0	7.0	暗黒・暗緑・水色ガラス質の溶解物と鉄銹(茶褐)色の部分と木炭が3層をなす。
2404	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.6 2.0 0.9	7.4	灰色でザラザラした如壁の一部と思われる土塊に黒色の溶解物が付着している。わずかに絶着。
2405-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.8 1.7 1.8	8.6	鉄銹(黄褐・茶褐)色の部分と暗黒・濃紺・灰青色ガラス質の溶解物が結合。
2405-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 0.9 0.4	1.2	鉄銹(茶褐)色の塊。
2405-3	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.5 1.7 1.6	3.1	礫と灰色ガラス質の溶解物が結合。
2406	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.7 1.7 1.2	3.9	砂が表面に付着した灰褐色の塊。
2419	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 2.0 2.0	3.9	淡褐色の溶解物で、茶褐色粒が析出。
2420-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.3 0.7 0.7	0.8	灰白色で5mm大の礫状粒が3個結合した小塊。
2420-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.0 1.2 1.1	2.1	鉄銹(茶褐)色と黒色ガラス質の溶解物で暗灰色の礫状粒が析出した小塊。
2421	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.3 1.0 0.7	1.0	灰・黒色ガラス質の溶解物。
2423	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.3 1.1	2.0	鉄銹(赤茶)色の部分と黒色ガラス質の溶解物が結合。このほかに同様の破片2 (2.2+2.0g)
2424	鉄滓	西1区	SX1-R1	4.1 3.3 2.0	13.1	暗褐・灰褐・暗茶色ガラス質の溶解物が混じり合う。
2425	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.3 1.1 0.8	1.2	気孔の目立つ灰色の塊。
2426	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.6 1.8 1.8	9.6	黄褐色・灰褐色・灰緑色が混じりあう鉄銹(茶褐)色の部分とガラス質の溶解物が融合。
2429-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.2 2.6 0.4	5.2	鉄銹(茶褐)色の塊で、木炭を噛んでいる。
2429-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 1.4 1.0	2.2	〃
2429-3	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.3 1.3 1.3	4.8	〃
2429-4	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.9 1.2 0.9	1.7	〃
2430	鉄滓	西1区	SX1-R1	- - -	3.7	1～3cmの鉄銹(茶褐)色の部分と黒・灰・暗褐色の溶解物と礫が結合した塊5片。
2431-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.6 2.2 1.1	8.3	緑・紺色ガラス質の溶解物で、粒状の凹凸が著しい。
2431-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.5 1.0	3.0	〃
2433	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.3 0.9	1.9	鉄銹(茶褐)色と灰黒色の溶解物。そのほかに同様の細片1 (0.6g)
2435	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.3 1.9 1.6	7.1	黄褐・灰色の砂や礫と藍色ガラス質の溶解物が結合。羽口の端部か。
2452-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.9 1.2 1.1	2.1	黄色の土塊に黒灰色の溶解物と礫状粒が結合。
2453-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.5 1.1 0.8	0.8	鉄銹(茶褐)色の部分と黒褐色ガラス質の溶解物が結合。
2453-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.8 1.7 1.2	3.4	〃
2457-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	- - -	2.8	1～2cmの暗灰色礫状粒4片。
2458-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.3 1.2 1.4	5.2	黒・白色ガラス質の溶解物で、少し赤みを帯びた部分がある。
2458-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.1 1.5 1.5	4.6	〃
2471	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.6 1.8 0.7	2.0	鉄銹(茶褐)色と灰黒色の溶解物。
2472	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.8 1.8 1.7	8.9	鉄銹(黄褐)色の部分と灰白色の礫状粒と黒色ガラス質の溶解物が結合。
2473	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.6 1.8 1.7	4.4	粒状の凹凸のある灰黒色の塊。このほかに同様の破片3 (2.8+5.6+4.3g)と細片4 (計4.8g)
2487	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.9 1.1	2.8	スサの痕跡のある暗灰色の土塊に黒褐・茶褐色ガラス質の溶解物が付着。羽口の先端か。
2490	鉄滓	西1区	SX1-R1	- - -	9.1	1cm内外の鉄分とガラス質の溶解物5片。
2495	鉄滓	西1区	SX1-R1	4.3 2.7 1.8	10.9	鉄銹(黄褐)色の部分にガラス質の溶解物が付着。
2496	鉄滓	西1区	SX1-R1	3.1 3.0 2.0	12.1	粘土に黒色・灰褐色・うぐいす色のガラス質の溶解物が厚く付着。
2505	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.2 1.1 1.7	5.3	鉄銹(黄褐)色の部分に黒褐色ガラス質の溶解物が付着。
2514-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.0 1.5 0.9	2.2	黒色の溶解物に白色の礫状粒が結合。
2516-1	鉄滓	西1区	SX1-R1	1.8 1.6 1.4	3.4	鉄銹(茶褐)色の部分と灰白色の礫状粒が結合。同様の塊1 (1.3g)
2516-2	鉄滓	西1区	SX1-R1	2.1 1.7 0.7	3.2	黒緑色でガラス質の溶解物に灰白色の礫状粒が結合。これと同様の塊1 (2.3g)

表10 鉄滓一覧(2)

取上番号	種 別 ゴチックは一括取上	出土地点・層位		法量 (cm)	重さ (g)	備 考
2533-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.8 1.9 1.3	3.3	黄褐・灰・黒色などのガラス質の溶解物。
2533-2	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.8 1.7 1.2	2.8	礫状粒が析出した白・灰・黒色などのガラス質の溶解物。
2548	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.7 2.3 1.6	7.4	灰白色の礫状粒が析出した光沢のある黒色の溶解物と細かい気孔のある黄色の溶解物が結合。
2550-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	3.2 2.3 1.0	5.5	ガラス質の溶解物。
2550-2	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.3 1.3 0.8	2.0	々
2567-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.0 1.2 1.2	2.6	鉄銹（茶褐）色の部分とガラス質の溶解物が結合し、凹凸が著しい。
2567-2	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	3.9 2.6 1.8	11.9	々
2567-3	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.8 1.8 0.6	4.4	々
2591-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	3.2 2.4 3.8	9.0	黒・灰色の光沢のないガラス質の溶解物。
2591-2	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	3.1 1.7 1.8	8.9	灰白色の礫状粒が結合。
2596-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.3 1.3 1.3	2.9	鉄銹（黄褐）色の部分と黒褐・灰色ガラス質の溶解物と礫状粒が結合。
2596-2	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.3 1.5 1.1	3.4	々
2596-3	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	3.6 2.3 1.5	9.3	々
2626-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	2.1 1.7 0.7	2.2	白・黒色のガラス質の溶解物。
2626-2	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	1.7 1.5 1.1	3.3	濃藍色でガラス質の溶解物に鉄銹色の礫状粒が結合。
2672	鉄滓	西 1 区	SD2	3.6 2.2 0.9	10.3	光る細粒を含む茶褐色の部分と礫状粒を析出させた光沢のない黒褐色の溶解物が結合。わずかな磁着あり。比較的重い。
2710	鉄滓	西 1 区	SX1-R1	3.8 2.6 1.2	20.4	細かい気孔に被われた灰黄褐色で光沢のないガラス質の溶解物と鉄銹（暗茶）色の部分が結合。木炭を噛む。
2742	鉄滓	西 1 区	SX1-R2	3.8 2.3 2.0	21.6	大小の気孔に被われ、光る細粒を含む鉄銹（茶褐）色の塊。比較的重い。
2793	鉄滓	西 1 区	SX1-R2	4.4 3.0 1.9	22.9	細かい気孔に被われ、光る細粒を含む鉄銹（茶褐）色の塊。比較的重い。
2857	鉄滓	西 1 区	SX1-R2	4.5 2.6 2.1	13.4	鉄銹（茶褐）色の部分と礫状粒が析出した灰・黒色のガラス質の溶解物が結合。
2860	鉄滓	西 1 区	SX1-R2	－ － －	11.2	ガラス質の溶解物。破砕して細片となり、計測不能。
2913	鉄滓	西 2 区	SX1-R2	5.3 3.9 2.2	27.9	木炭が所々混じる鉄銹色の塊で、比較的重い。わずかに磁着。
3043	鉄滓	西 2 区	SX1-R2	2.4 1.4 1.2	2.5	黒色の溶解物で、しずく形の流動滓。
3265	鉄滓	西 1 区	SX2-R2-1	1.8 1.5 0.8	2.2	灰白色の礫状粒が析出した光沢のない黒色の溶解物。
3311	鉄滓	西 2 区	SX1-R2-3	3.8 2.0 1.0	4.8	灰白色の礫状粒が析出した黒緑色の溶解物。
3326	鉄滓	西 1 区	SX1-B	6.3 4.2 2.9	33.1	灰白色の礫状粒が析出した黒色でガラス質の溶解物。凹凸が著しい。
3342	鉄滓	西 2 区	SD2	4.2 2.9 2.2	10.0	灰白色の礫状粒が析出した黒色の溶解物。凹凸が著しい。比較的重い。
3344	鉄滓	西 2 区	SD2	3.0 2.1 1.2	6.0	灰白色の礫状粒が析出した気孔の多い鉄銹（茶褐）色の溶解物。
3544	鉄滓	東 2 区	Ⅲ	3.9 3.6 2.8	35.5	灰色の土塊に黒色の溶解物が結合。このほかに同様の細片 2（計 4.8g）
13	鉄滓	試 5 区	SX1-R1	2.5 1.7 1.6	4.5	灰白色の礫状粒が析出した黒色でガラス質の溶解物。
14-1	鉄滓	試 5 区	SX1-R1	3.4 2.8 1.6	12.1	灰白色の礫状粒が結合した凹凸の著しい塊。比較的重い。
14-2	鉄滓	試 5 区	SX1-R1	2.3 1.8 1.4	6.9	白色の礫状粒が析出した黒色で光沢のあるガラス質の溶解物。
32-1	鉄滓	試 5 区	SX1-R1	5.4 4.5 1.8	21.4	一面は淡灰色の粘土で、片面は大小の気孔の多い黒灰色の溶解物に厚く覆われる。このほかに比較的重い細片 1（1.3g）
380-1	鉄滓	西 1 区	SX1-R1-2	1.6 1.5 1.2	1.7	白色の礫状粒が結合。
1136	鉄滓（碗形）	試 4 区	Ⅲ	8.2 6.3 4.8	181.9	推定径 14cm。被熱して淡赤色化した土塊と黒色溶解物が結合。上面の鉄銹（茶褐）色の部分でわずかに磁着。
2136	鉄滓（碗形）	試 5 区	SX1-R1	6.4 3.3 1.5	21.3	下面は細かい気孔が多く、灰白色で丸みを呈する。上面は丸い白色の礫状粒に被われ、凹凸が著しい。
2162	鉄滓（碗形）	試 5 区	SX1-R2	5.1 4.6 2.3	43.9	下面は 1 ～ 2 mm の粘土粒が混入し、灰褐色で丸みを帯びる。上面は暗茶褐色と灰褐色の溶解物で、灰褐色の部分でわずかに磁着。
2167-1	鉄滓（碗形）	試 5 区	SX1-B	7.5 5.0 2.2	99.9	推定径 14cm。下面は灰白色で丸みを帯びる。上面は光沢のある黒色の溶解物に被われている。
2167-2	鉄滓（碗形）	試 5 区	SX1-B	2.2 1.9 2.2	16.5	同様の破片で、わずかに磁着。
2174-1	鉄滓（碗形）	試 5 区	SX1-R2	9.3 6.5 2.8	99.5	推定径 13cm。下面は茶褐色で丸みを帯び、木炭を噛んでいる。中央部は黒褐色で雲母状の細粒を含み、その部分で磁着する。上面は丸い灰白色の礫状粒に被われ、凹凸が著しい。
2224	鉄滓（碗形）	西区	SX1 ～ Ⅲ	4.6 3.4 2.6	36.9	推定径 13cm。側縁に 2 ～ 3mm の灰色の礫状粒が見られるが、析出したものか、付着したものかは不明。上面は、褐色や灰白色の礫状粒と赤紫色の溶解物が結合し、凹凸が著しい。下面は灰色と鉄銹（灰褐色）の部分があり、鉄銹色の部分で強く磁着。比較的重い。
2359	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	5.8 2.8 2.5	37.6	平らな上面は黒色ガラス質、丸みを帯びた下面は鉄銹色で、粒状の凹凸に被われ、粒の破面は灰白色。
2396-2	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	4.5 2.6 1.4	9.1	推定径 8cm。下面は灰褐色で細かい気泡が目立つ。上面は薄茶褐色で、細かな凹凸がある。
2420-3	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	3.0 1.8 1.5	5.8	推定径 7cm。上面は鉄銹（茶褐）色と灰褐色の部分の同心円状に輪になる。下面は暗灰色で、凹凸がなく滑らか。
2422	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	4.3 3.2 2.7	23.5	下面はやや丸みを帯び、灰色で凹凸がなく滑らか。上面は凹凸で鉄銹（茶褐）色と灰褐色の部分があり、凹凸が著しく、わずかに磁着。
2432	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	5.3 4.0 2.0	42.7	推定径 8cm。全体に細かい気孔のある鉄銹（暗茶褐）色の塊で、強く磁着。下面は丸みを帯び、凹凸がなく滑らか。このほかに同様の細片 9（計 21.3g）
2546	鉄滓（碗形分）	西 1 区	SX1-R1	3.3 3.2 1.0	14.8	2432 と同様の破片。細かい気孔の多い鉄銹（茶褐）色の塊で、磁着する。比較的重い。
2557	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	9.7 6.5 3.5	232.2	推定径 15cm。丸みを帯びた下面は、5mm 大の灰白色粘土粒が混じり、凹凸がなく滑らかな部分が 3mm の厚さで残るが、中央部がくぼんで、雲母状の細粒を含む鉄銹（暗茶褐）色をのぞかせている。上面は、気孔が多く鉄銹（淡茶褐）色で、中央部が灰緑色。その部分でわずかに磁着。非常
2558-1	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	5.2 3.5 2.3	25.9	推定径 15cm。下面に灰白色の滑らかな面が部分的に残るが、それ以外は気孔の多い鉄銹（暗茶褐）色で、木炭を噛んでいる。上面は灰白色の礫状粒が析出した淡茶褐色でガラス質の溶解物で凹凸が著しい。このほかに同様の細片 7（34.8g）
2558-2	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	6.8 5.0 2.2	52.2	2558-1 と同様の塊で、下面に滑らかな面がなく、鉄銹（暗茶褐）色。
2561	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	3.5 2.4 2.6	23.0	下面は灰白色で凹凸が無く滑らかで、その部分の厚さが 3mm。その上に黄褐色、茶褐色の順で層をなし、上面が灰白色の礫状粒を析出させた鉄銹（暗茶褐）色の溶解物。
2587	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	12.5 8.0 6.4	517.2	推定径 18cm。上面は光沢のある黒色ガラス質の溶解物で木炭屑（一部木炭を噛む）に被われている。下面は暗灰色で大きな気孔による凹凸がある。下面と上面の間に、灰色の細粒が固まった部分と気孔の多い灰白色の部分がある。わずかに磁着。比較的重い。
2608	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	9.5 6.0 2.7	125.9	推定径 12cm。上面は大小の気孔があり、中央は暗緑色ガラス質の溶解物で 5mm 大の炭粒を噛む。下面は如床を反映した丸みがあり、灰白色を呈する。
2637	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R1	2.7 2.0 3.1	17.5	灰白色で丸みを帯びた部分（側面）と鉄銹（茶褐）色で 5mm 大の木炭を噛む部分からなる碗形薄片。わずかに磁力。
2702	鉄滓（碗形）	西 2 区	SD2	4.3 2.3 0.8	8.8	上面は鉄銹色で気孔が多く、5mm ～ 1cm 大の白色の礫状粒を析出させている。下面は光沢のない暗褐色で、如床を反映した丸みがある。厚さ 9mm の薄い如床滓。わずかに磁着。
2875	鉄滓（碗形）	西 1 区	SX1-R2	4.5 2.8 2.6	24.9	灰色を呈する丸みのある滑らかな面（側面）と、その内側に 8mm ～ 1cm の厚さで、光沢のある黒色で炭屑のある部分、さらにその内側に気孔の多い灰白色の部分の 3層を成す。
2930	鉄滓（碗形）	西 1 区	SK36	8.4 6.2 2.0	97.4	推定径 15cm。上面はくぼんでおり、5mm 大の灰白色の礫状粒が析出、この面がわずかに磁着。下面は、丸みを帯び、灰黒色で細かな気孔があり、埋めく細粒を含む。厚さ 1 ～ 2cm の如床滓。
3132	鉄滓（碗形）	西 2 区	SX1-R1-2	4.9 3.4 2.4	19.0	推定径 7cm の小形ではあるが碗形。上面は暗灰色で、5mm 大の暗灰色の礫状粒を析出させて凹凸があり、炭を噛んでいる。側面は丸みを帯びるが、灰色の礫状粒や炭を噛み凹凸が著しい。
258-1	鉄滓（碗形）	西区	Ⅲ	4.3 3.6 1.5	28.2	推定径 7 ～ 8cm。上面は、鉄銹（暗緑茶褐）色で、細かな気孔がある。下面は丸みを帯び、厚さ 5mm の灰黒色の緻密な溶解物の表面を灰白色の細粒が被っている。如床の粘土が付着した物か。厚さ 7mm ～ 1.5cm の如床滓。
258-3	鉄滓（碗形）	西区	Ⅲ	3.7 2.4 1.4	13.9	接合はしないが、同一個体。
2,566.4g + そのほかの細片 100.6g = 総重量 2,667.0g						

表11　　ファイゴの羽口一覧

取上番号 ゴチックは一括取上、(図版)	残存部位	出土地点・層位		法量 (cm)			備　考
				長さ	幅	厚さ	
2154-1　(275)	先端	試5区	SX1	4.0	7.4	2.3～2.9	外径7.5cm、内径2.5cm。先端部に黒緑色の溶解物が厚く付着。外面は灰白色で内側へ厚さ3～5mm硬化している。内面は淡黄褐色粘土で、一部被熱して淡赤色を呈する。
2154-2	先端・外面	試5区	SX1	4.8	3.5	(1.8)	推定外径8cm。先端に気孔の多い灰緑色の溶解物が付着。外面は灰白色で、内側へ厚さ2mm硬化している。内面は黄褐色粘土で、先端に近い部分が被熱して淡赤色を呈する。
2331-1　(276)	先端近く	西1区	SX1	5.0	3.1	1.7	外径6.3cm、内径2.5cm。淡黄褐色の粘土で、先端に近い部分の外面が灰白色で硬化している。
2331-2	先端近く	西1区	SX1	3.9	1.9	1.9	図87-276と同様の破片。
3370　(277)	先端近く	西1区	SX1-R2-3	4.5	3.7	2.4	外径7.3cm、内径2.8cm。淡黄褐色粘土で、外面の先端に近い部分が灰白色で内側へ厚さ2mm硬化している。
2137　(278)	先端	試5区	SX1	2.3	5.3	1.4	外径4.5cm、内径2.7cm。先端の外面側に灰緑色の溶解物が厚く付着し、地色は暗灰色で内面へ厚さ1cm硬化している。内面は淡黄褐色の粘土の色を呈するが、先端部が被熱して淡赤色を呈し硬化している。
2170	先端	試5区	SX1-R2	2.5	2.8	1.5	内径1cm。礫状粒を析出させた黒緑色の溶解物が厚く付着。内面の粘土部分が赤変。
2174-2	先端	試5区	SX1	2.6	3.1	1.2	推定外径5cm。先端部に光沢のある黒緑色ガラス質の溶解物が付着。粘土に草木（ササ）が混じる。
2177	先端近く	試5区	SX1-R2	3.0	3.3	(1.3)	推定外径9cm。赤黄褐色の粘土に白色粒混じりの光沢のある黒色溶解物が付着。
2332	内面	西1区	SX1-R1	2.4	2.5	(0.5)	内径2cm。全体に暗灰色で硬化している。内面の一部が赤変。
2363-2	外面	西1区	SX1-R1	2.1	1.4	(0.9)	灰色で硬化している。
2364	外面	西1区	SX1-R1	2.0	1.5	(1.2)	外面は淡黄褐色、内側は灰色。
2386	外面	西1区	SX1	3.2	5.0	(2.2)	推定外径9cm。外面は淡黄褐色で、縦方向に指ナデ痕あり。粘土に草木（ササ）が混じる。
2393-2	先端	西1区	SX1-R1	3.3	2.6	(1.5)	推定外径5cm。先端部は黒色で、黄褐色から灰色に変化。縦方向に指ナデ痕がある。
2417	外面	西1区	SX1-R1	2.6	2.3	(1.6)	外面に丸みのある黄褐色の土塊。
2420-4	外面	西1区	SX1-R1	1.8	2.5	(1.5)	外面に暗灰色の溶解物が付着。内側は淡黄色。
2428	先端	西1区	SX1-R1	3.4	3.2	(1.2)	推定外径9cm。光沢のある黒緑色の溶解物が厚く付着。内側は暗灰色。
2431-3	外面・内面	西1区	SX1-R1	2.7	2.7	1.8	推定外径8cm、内径2cm。外面は灰色で硬化し、少し黄褐色の溶解物が付着。内面は黄褐色の粘土に草木（ササ）が混じる。
2452-2	外面	西1区	SX1-R1	1.6	2.3	(1.3)	推定外径9cm。外面は灰色で硬化し、緑色の溶解物が少し付着、縦方向に指ナデ痕あり。内側は黄褐色粘土。
2454	外面	西1区	SX1-R1	3.4	1.6	(1.2)	推定外径5cm。外面も内側も一様に淡黄褐色。
2455	先端	西1区	SX1-R1	4.5	4.0	(1.2)	推定外径5.2cm、内径2.8cm。先端3cmの部分に白色の礫状粒を析出させた黒褐色・黄緑色の溶解物が厚く付着し、一部垂れて固まる。
2457-2	先端	西1区	SX1-R1	1.5	2.1	(1.7)	内径2.4cm。外面は光沢のない黒色溶解物が付着。内面は灰色。
2460	先端近く	西1区	SX1-R1	3.0	2.6	1.9	推定外径5.6cm、内径2cm。外面は細かな気孔の多い緑黒色の溶解物が付着。内面は黄褐色から淡赤色に変化。
2508	先端	西1区	SX1-R1	4.9	3.2	(1.2)	推定外径9～10cm。先端から2cmの部分に、白色の礫状粒を析出させた光沢のある黒色溶解物が付着。外面は灰色で硬化している。縦方向に指ナデ痕あり。
2514-2	先端・外面	西1区	SX1-R1	3.0	2.6	(1.2)	推定外径7cm。先端から1.6cmの部分に、黒緑色の溶解物が付着。外面は灰白色で縦方向の指ナデ痕あり。
2528	先端・外面	西1区	SX1-R1	3.2	2.4	(1.3)	推定外径7cm。先端部に黒褐色の溶解物が付着。粘土に草木（ササ）が混じる。外面は灰白色。
2533-3	外面	西1区	SX1-R1	4.0	2.3	(1.2)	推定外径11cm。黄褐色から灰色に変化。粘土に草木（ササ）が混じる。
2558-3	外面	西1区	SX1-R1	3.0	2.1	(1.6)	推定外径9cm。外面は灰色で縦方向の指ナデあり。内側は黄褐色。
2558-4	外面・内面	西1区	SX1-R1	3.8	2.9	2.0	推定外径6cm、内径3cm。外面は黄褐色から灰色に変化。縦方向の指ナデ痕あり。内面は黄褐色。
2565	先端・外面	西1区	SX1-R1	4.0	4.1	(1.3)	推定外径8cm。先端1.5cmの部分に、白色の礫状粒を析出させた光沢のある黒褐色ガラス質の溶解物が厚く（1.5cm）付着。外面には気孔の多い鉄鏽（淡茶褐）色の溶解物が付着。内側は淡黒色。
2596-4	外面・内面	西1区	SX1-R1	2.0	1.6	1.7	推定外径6cm、内径3.8cm。外面は灰色で硬化し、黒色の溶解物が少し付着。内面は黄褐色で、草木（ササ）が混じる。
2618	先端	西1区	SX1-R1	2.7	2.4	1.7	外径5.4cm、内径2cm。内外面ともに灰色で硬化している。先端部に光沢のある黒色ガラス質の溶解物が厚く（0.4～0.9cm）付着し、一部垂れて固まる。粘土に草木（ササ）混じる。
2626-3	外面・内面	西1区	SX1-R1	4.5	3.6	2.0	推定外径6cm、内径2cm。全体に淡黄褐色。外面に縦方向の指ナデ痕あり。粘土に草木（ササ）が混じる。
2626-4	先端・外面	西1区	SX1-R1	2.4	2.5	(1.2)	推定外径6cm。全体に暗灰色。先端から1.9cmの部分に、気孔があり光沢のある黒緑色の溶解物が付着。
2719	先端	試5区	SX1-R1	2.7	4.6	1.9	推定外径8cm、内径4cm。淡黒色で硬化し、先端部に細かな気孔の多い黒緑色ガラス質の溶解物が付着。
3324	先端近く	西1区	SX1-B	3.1	2.2	1.7	推定外径6cm、内径2.4cm。外面に0.5～0.9mmの厚さで黒色ガラス質の溶解物が付着。内面は淡赤色に変化して硬化している。粘土に草木（ササ）が混じる。
12	外面	試5区	SX1-R1	2.1	2.8	(1.6)	推定径11cm。全体に暗灰色で硬化している。縦方向の指ナデ痕あり。
32-2	外面	試5区	SX1-R1	2.3	1.7	(1.5)	外面は暗灰色で硬化し、内側は淡茶色の粘土。
258-2	外面	西区	Ⅲ	2.1	2.5	(0.7)	推定外径6.5cm。外面は灰色で硬化し、縦方向の指ナデ痕あり。内側は淡黄褐色。
380-2	先端近く・内面	西1区	SX1-R1-2	2.2	1.8	(0.6)	推定内径3cm。灰色で硬化している。一部残る外面に、黒色ガラス質の溶解物がわずかに付着。